

出水だより

防災まちづくり版 第四号

発行
出水住民福祉
連合協議会
出水学区自主防災会

令和二年度

『防災まちあるき』を

実施しました！

ワークショップまとめ結果（6ブロック）

出水学区では、平成三十年度に防災まちづくり計画を策定しました。

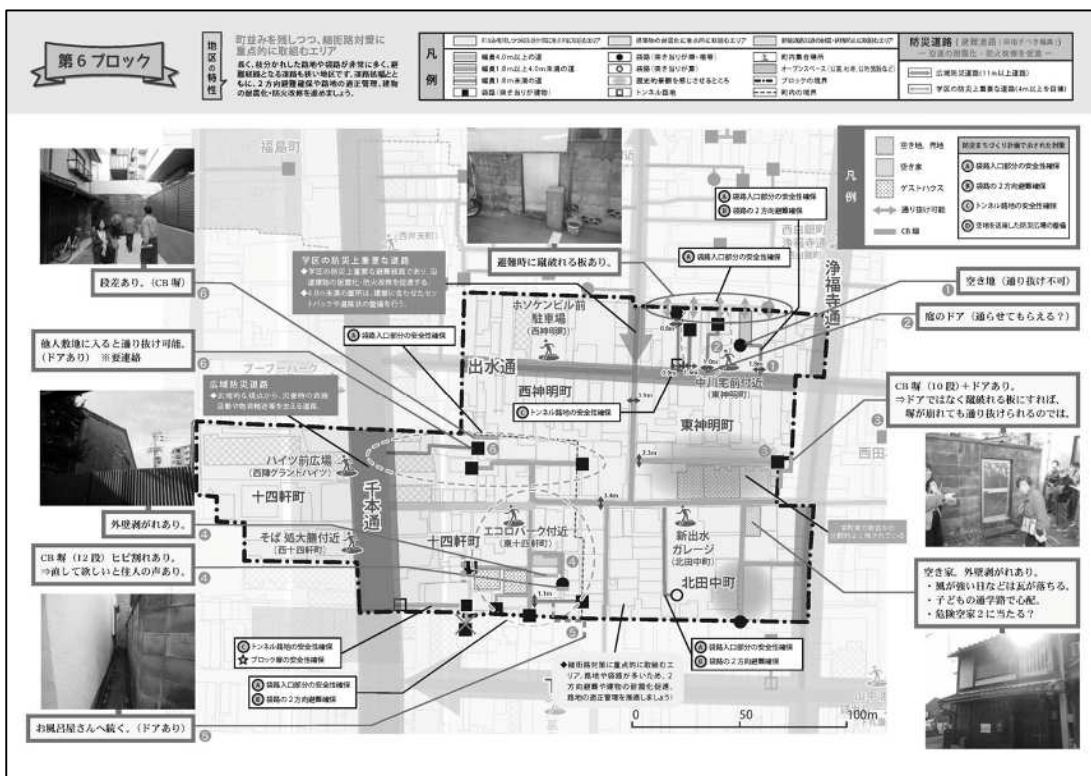
その計画に従って、毎年概ね2ブロックずつ、**防災まちあるき**を実施しております。

今年度は、令和二年十一月一日に、**6ブロック、11ブロック**を対象に実施しました。

新型コロナウイルスの影響があつたため、対策を十分に施した上で、参加人数も自主防

災委員と町内会長を中心に絞り込んで、まちを歩き、ワークショップで結果をまとめました。

ご参加いただいたみなさま、お疲れ様でした！



▲まちあるきの様子

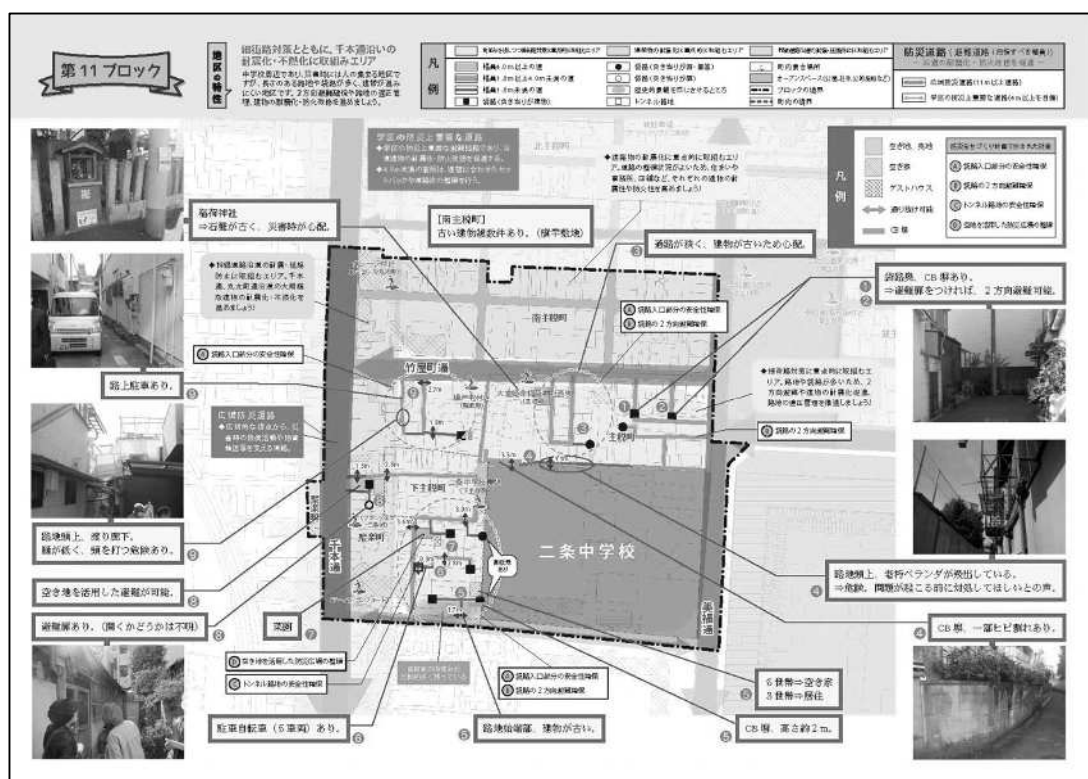


▲ワークショップの様子

まち歩きでは、普段入らない路地の奥まで皆さんと確認します。

6ブロックでは、幅一メートルも満たない路地奥を確認し、空き家や避難経路の確認をしました。袋路の奥に、蹴破れる壁があつたり、銭湯に抜ける入口がある事を、現場を見ながら確認しました。

11ブロックでは、袋路になつていく路地奥の様子や二条中学校裏の狭い路地を確認し、頭上に渡り廊下や、老朽化したベランダが突出している路地があることを確認しました。



▲ワークショップまとめ結果（11ブロック）

まち歩きの結果から、災害時の避難経路や、改善の可能性がある箇所を確認できました。京都市の支援も視野に入れ、今後の具体的な取組に結びつけていくように考えていきますので、住民の皆さまには変わらぬご協力をお願いいたします。

改善箇所インタビュー

防災まちあるきの際に、地域の方から袋路について、災害時に避難上不安である声をいただいたことをきっかけに、今回、京都市の補助金を活用し、敷地に接する袋路が緊急時に2方向避難ができるよう、避難扉を設置しました。また、併せて、袋路に面する高さのあるブロック塀の改善も実施しました。

当初は、袋路への避難扉の設置だけを検討していましたが、大阪府北部地震などの事例から、ブロック塀の安全性について日頃から心配しており、京都市からブロック塀の改善に対する支援制度があることも案内されたので、施工業者とも相談し、思い切って同時に改善することとしました。

今回のブロック塀改修工事は、袋路に接する部分のブロック塀は金属塀に改修しつつ、一部は、袋路沿道にお住まいの方が災害時に避難できるよう、緊急避難扉を設置しました。

また、敷地内の道路に繋がる緊急避難経路上にあった物品も、全て処分しました。袋路沿道にお住まいの皆様とは、緊急避難経路の整備や維持管理に関する協定を結び、工事費の負担に関する感謝の言葉や、「安全になるから助かる」等のお声掛けをいただき、地域の安全性の向上に繋がったので良かったです。

主税町の改善に取り組まれた岡部さん



避難扉を設



金属塀に改

令和元年度のまちあるきで確認されたまちの課題箇所について、主税町で取り組みが始まり、京都市の支援制度を活用して、具体的に改善が進みました。

今回は、改善に取り組まれた岡部さんにお話を伺いました。

「防災まちあるき」の点検から、改善が進みました！



改善前

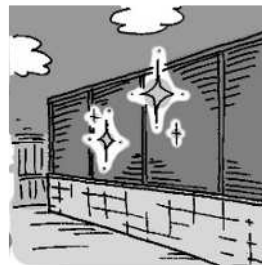
京都市では密集市街地や細街路の安全性を高めるための、様々な支援制度を設けています。

各制度には要件があります。詳しくはお問合せください。

■みちの取組 ～細街路対策事業～

二方向避難のための緊急避難扉設置や、袋路の入口部の耐震・防火改修工事の費用を補助します。

- ・緊急避難扉の設置：最大 30 万円（全額補助）
- ・袋路の入口部の耐震・防火改修：最大 250 万円（全額補助）
- ・袋路の入口部の工作物の撤去等：最大 50 万円（全額補助） 他



■まちの取組 ～防災まちづくり推進事業～

老朽建築物等を除却・改善するなど、まちをより安全にするための工事費用を補助します。

- ・老朽木造建築物の除却：最大 60 万円（補助率 2/3）※跡地の利用について要件があります。
- ・危険ブロック塀の除却：11,600 円/㎡、新設：8,900～14,700 円/㎡
- ・防災ひろばの整備：建物除却最大 100 万円（補助率 9/10）、ひろばの整備：最大 200 万円（全額補助）

※さらに固定資産税が非課税になります！

